

## 審判

予選のリーグ戦は、各ブロックの空きチームが行う。

準決勝については、第一試合を各ブロックの2位チーム（各1名の4名で）が行う。

第二試合を第一試合の敗者チームが行う。

決勝については、準決勝の敗者チーム（各チーム2名の4名で）が行う。

## 試合形式

各チーム最低2試合行う。

予選は1試合30分間。または5回までとする。（試合途中で時間が来てしまった場合で、裏のチームが負けている場合、表の攻撃途中であれば前の回の裏までとする。）

準決勝及び決勝は45分間、もしくは7回までで終了。

## ルール

基本的には、野球のルールで行う。（ソフトボールでは細部において野球と違い、親しみが少ないため）特別ルールは以下に示す。

1.パスボール及びワイルドピッチ等のバッテリエラーは適用しない。プレーを止めてランナーの進塁はなし。振り逃げもなし。

2.盗塁はなし。離塁については、打者が打つまで行わない。（ピッチャーの手からボールが離れてからではない。）

3.悪送球は、藪、ベンチ等の障害物に入った時点でテイクワンベース。障害物に入った段階で次塁に到達していた場合は、次塁からテイクワンベース。その判断は主審が行う。

4.審判の判定には抗議をしない。ただし、アマチュア審判なので誤審が明らかな場合のみ、判定をした審判以外が指摘すれば、審判団協議で最初の判定を覆してもよい。

明らかな誤審とは、最寄の審判が確認できなかった事象（落球やフライ捕球時のバウンド等）又は、判定した審判がルールを知らない場合についてのみで、ストライク、ボールの判定、ホースプレー及びタッチプレー等のタイミングに関するものは最寄の審判の判定になる。

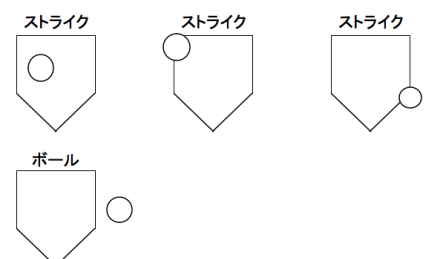
## ルール解説

野球のルールで行うが、親しんでるとはいえ理解してない物もあると思われるので、2例のみ解説します。

ストライクゾーン横方向図解

### 1.ストライクゾーン

ストライクゾーンは横方向では、ホームベースの一部でもボールがかすめた場合。

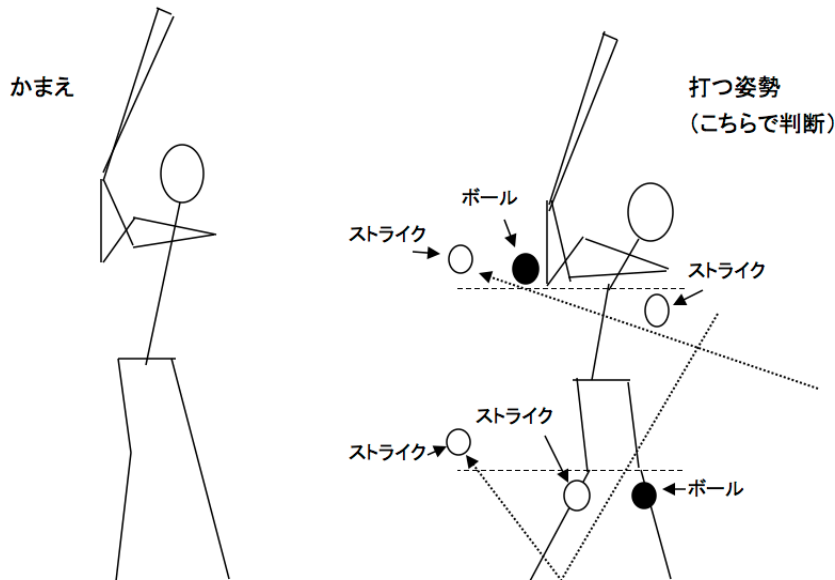


縦方向は、バッターが打つ体制をとった姿勢で、上が肩とベルトの中間点（だいたい乳首付近）より下にボールが完全に入った場合。

下はひざをかすめた場合。ただし、通常に打つ姿勢で判断する。

バンドや極端にしゃがむといった姿勢では通常に直して（頭の中で）判定する。

### ストライクゾーン縦方向図解



素人審判ですので上記のとおり判定するのは難しいと思います。各自の感覚によると思いますが、横方向については悩むくらいの時はストライクで、縦方向はベース上又はそれより手前でワンバウンドした球は全てボール。同じコースは、試合を通して同じ判定をする。

破線矢印の軌道は極端ですが、ソフトボールの場合はありえます。

## 2. インフィールドフライ

インフィールドフライは主審が宣告します。宣告した時点でバッターはアウトです。

以下にインフィールドフライが成立する条件を説明します。

### 条件

ノーアウト及びワンアウトでランナーが1塁、2塁若しくは満塁。

インフィールド（芝生と土の境）内にフライが揚がった場合に直ちに宣告します。

ファールになるかもしれない時には「インフィールドフライ イフ フェアー」と宣告しファールゾーンで落球した場合はファール。バッターアウトになりません。

インフィールドフライが宣告されるとバッターはアウトになりますが、その他のプレーは止りません。また、宣告された時点でランナーの進塁義務がなくなるので、元の塁にいれば、落球してもそのまま元の塁にいればセーフです。

尚、前述の通り宣告されればファール以外ではプレーは止らないので、フライを捕っても落球しても離塁していればタッチプレー又はアピールプレイでランナーはアウトになります。ただし、バントの時はインフィールドフライを適応しません。